

●入試名称 大 学 (問合せ先等)	学 部 (学群・学域)	学科-専攻 (学類)	募集人員	出 願 資 格				選 考 方 法		2017年度入試日程			備 考	2016年度入試結果				
				対象課程	出願時区分	現浪区分	成績基準	特定条件(取得資格・活動実績等) ・求める学生像等	C T 教科 科目	小論文・面接・その他 *提出書類(志願票以外)	出願期間	試験日	合格発表	可否判定評価法, 小論文・面接の内容, 新增設, その他	出願者数 (エントリー数)	合格者数	競争率	
●AO入試 横浜国立大学 <教育学部> ★入試係 TEL(045)339-3261 〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-2 要項: 〒215円 テレメールで請求 出願: 郵送 <経済学部> ★社会科学系経済学務係 TEL(045)339-3508 〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-3 要項: 未定 出願: 郵送 <経営学部> ★社会科学系経営学務係 TEL(045)339-3663 〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-4 要項: 未定 出願: 郵送 <理工学部> ★理工学系大学院等入試係 TEL(045)339-3821 〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5 要項: 〒215円 テレメールで請求 出願: 郵送 <都市科学部> ★都市科学部設置準備事務局 TEL(045)339-3124 〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-6 要項: 未定 出願: 郵送	* 教育	学校<教科教育>	30	全	専	浪	×	学校教員になろうとする強い意欲を有する者 (注)教育人間科学部の求める学生像 =(1)社会の様々な矛盾と連動する教育の諸課題に強い関心や問題意識を持ち、自ら教育の場に身を置き、個々の子どもたちの成長を支えつつ、教育の未来を切り拓くことで社会に貢献し、自己実現を図りたい者、(2)現代の先端的な芸術・文化やサブカルチャーなどに広い関心や問題意識を持ち、種々のメディアを活用しつつ、自ら表現者として、あるいは公共の側から創造活動を支援する者として社会に貢献し、自己実現を図りたい者、(3)流動的で多元化する社会に深い関心や問題意識を持ち、外国語能力を含む高いコミュニケーション能力を身につけ、多様な人々や異なる文化の間に媒介者として立って活動することで、社会に貢献し、自己実現を図りたい者	5-7 5-8 6-7 6-8	1次=書類審査・提出課題レポート・小論文 2次=面接(面接官複数、①個別、②グループ提出課題レポートの内容説明含む) 最終=CT (書類)自己推薦書、調査書等	9.8 〵 9.14	<1次> 9.30 <2次> 10.22	10.7 11.7	[CT]900点満点で570点以上を最終合格者とする(発表2月3日) (注)小論文は附属学校で撮影した授業風景のビデオに基づいて与えられた課題について論述 (新設)教育学部=学校教育課程(教育人間科学部を改編予定)	70	26	2.7	
		* 経済	経済	15	全	専	浪	×	英検、TOEFL、TOEIC、IELTSいずれかのスコアを提出できる者(出願資格は要項確認) (注)本入試は経済学・経営学を中心にしてGBEEP(Global Business and Economics教育プログラム)での学習を希望する者のための入試	2-3	1次=書類審査(募集人員の3倍を超えた場合に実施、英語スコアにより選抜) 2次=面接 最終=CT(発表2月7日) [CT]数・外 (書類)自己推薦書、英語スコア、第1次選抜免除試験等にかかる証明書原本(該当者)、調査書(要項確認)	11.10 〵 11.17	<1次> — <2次> 12.19	12.13 1.6	(注)日本数学オリンピック予選Aランクと予選免除者、数検1級、日簿1級、全経簿上級いずれかの有資格者は第1次選抜を免除 (注)経済学部・経営学部は各1学科制に改編予定(要項確認)			
		* 経営	経営	15														
		理工	* 機械・材料・海洋系 —海洋空間のシステムデザインEP		10	全	専	浪	×	(1)環境と調和しつつ世界中を駆けめぐる、“未来型の船舶・航空機”や、“斬新な海洋構造物”の設計エンジニアになりたい者、(2)海洋から大気圏さらに宇宙を活躍の場とする“船舶や航空機、人工衛星の運用”の最適化を通して人や物資の流れを作り、世界を一つにすることを目指したい者	3-4	1次=書類審査 2次=面接(数・物の口頭試問含む) 最終=CT(発表2月4日) (書類)自己推薦書、調査書等	10.27 〵 11.2	<1次> — <2次> 12.2	11.15 12.13	[CT]国・数(I A必須)・英 (注)改編予定(要項確認)	38	11

●入試名称 大 学 (問合せ先等)	学 部 (学群・学域)	学科-専攻 (学類)	募集人員	出 願 資 格				特定条件(取得資格・活動実績等) ・求める学生像等	選 考 方 法		2017年度入試日程			備 考 合否判定評価法, 小論文・面接の内容, 新増設, その他	2016年度入試結果		
				対象課程	出願時区分	現浪区分	成績基準		C T 教科 科目	小論文・面接・その他 *提出書類(志願票以外)	出願期間	試験日	合格発表		出願者数 (エントリー数)	合格者数	競争率
●AO入試 横浜国立大学 (続)	*都市科学	都市社会共生	10	(注)募集要項で確認のこと				3-3	1次=書類審査 2次=文章実技(作文・600字)・口頭試問 最終=CT(発表2月7日) 〔C T〕国・外必須, 地公・数から1教科 〔書類〕自己推薦書, 学習計画書, 調査書等	10.25 } 10.31	<1次> - <2次> 12.10	11.29 12.21	(注)口頭試問→主に志望動機・入学後の学習計画等に関する質疑を行う (注)文章実技→思考力・表現力を考査する 〔新設〕都市科学部=都市社会共生学学科, 建築学学科, 都市基盤学学科, 環境リスク共生学学科(設置予定)	(新規実施)			
		建築	7	×	1次=書類審査・実技試験 2次=口頭試問 〔書類〕自己推薦書, 調査書等	10.25 } 10.31	<1次> 11.19 <2次> 12.10	11.29 12.21	(注)実技試験→造形に関する思考力・表現力の検査 (注)口頭試問→論理的思考力・理解力・表現力の考査を行う								
		都市基盤	10	×	1次=書類審査 2次=口頭試問(プレゼンテーション含む) 〔書類〕自己推薦書, 調査書等	10.25 } 10.31	<1次> - <2次> 12.10	11.29 12.21	(注)口頭試問→主に志望動機等に関する質疑, 数(I II III AB)・理(物基・物)およびそれらに関連する総合的な能力の検査, 物理的・社会的現象を対象とした課題に対するプレゼンテーションとそれに関する質疑を行う								
		環境リスク共生	10	5-7	1次=書類審査 2次=実習(実際の研究材料や資料, データなどを調べて, 結果をまとめて発表) 最終=CT(発表2月7日) 〔C T〕理=物・化・生・地学から2科目 〔書類〕自己推薦書, 調査書等	10.25 } 10.31	<1次> - <2次> 12.10	11.29 12.21	(注)実習→環境学への興味とセンス, 思考力, 発想力, 表現力の検査 〔C T〕国200点, 地公250点, 数450点, 理350点, 外300点, 計1,500点								